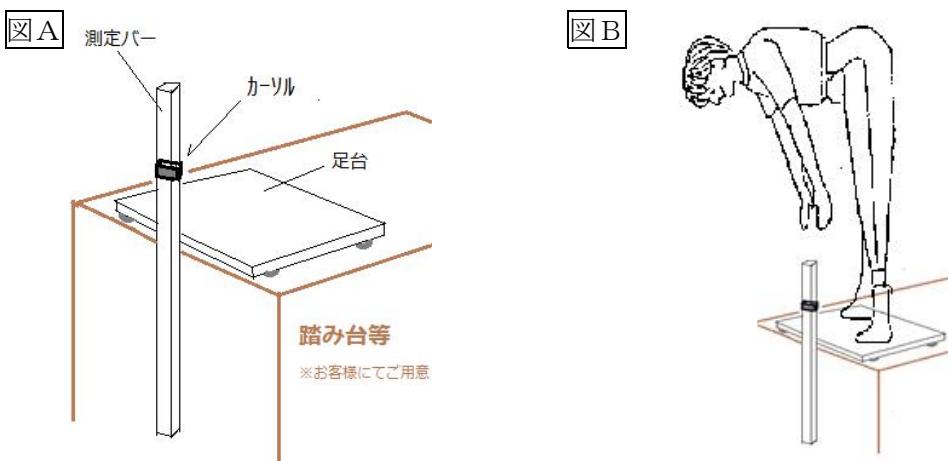


HTM 立位体前屈測定器 SL II

取扱説明書

(1) 各部名称・計測準備

まず測定バーと足台の蝶番ピンを互いに差込み、左下図Aの様に頑丈な踏み台(ユーザー準備)に測定バーが垂直になる様にセットします。
そしてカーソル(マグネット式)を測定バー正面目盛上にくっつけます。



(2) 計測方法

I) <初期姿勢> 被測定者は図Bの様に両足を揃えて足台に乗り、両手を揃えて下に伸ばします。 注) この時ヒザは曲げない

II) 先ずカーソルを一番上方に移動し、初期姿勢より息を吐きながら両手がカーソル押し下げる様に前屈動作をします。

※この体勢を後ろからチェックしますと側弯症予備軍の発見にも役立ちます

注意 バランスを崩して落下しない様にサポート役をつける等の最善の注意を払う

III) その後、最大に前屈みした時点で手をカーソルから離し楽な姿勢をとる。

(3) 記録

カーソル位置上端の目盛を読み取ります。 * 1人2回ずつ測定して良い方を記録します

(4) 収納

測定バーと足台の蝶番ピンを外して保管します (上に重たい荷物は置かないこと)

[使用上のご注意]

1. 毎回使用場所の整備、器材の点検を行い、事故防止に万全の注意を払う。
2. 医師から運動禁止または制限されている者はもちろん、当日身体の異常（発熱・倦怠感など）を訴える者には行わない。
3. 前後に適切な準備および整理運動を行い、定められた方法の通り正確に測定を実施する。
4. 修理不能及び保証対象外になる為、踏付けや落下、分解及び改造行為は絶対に行わない。